

(2026年5月号掲載)

【緊急調査】原油価格上昇による群馬県内企業への影響調査

群馬経済研究所 主任研究員 大井 飛知岐

調査のポイント

中東情勢の悪化により、原油価格が上昇している。原材料や燃料に広く使用される原油の価格上昇は、企業活動に大きな影響を及ぼすと考えられる。そこで、県内企業を対象に、原油価格上昇による影響やその対応策などについて緊急調査を行った。

要約

- アンケート結果によれば、原油価格上昇による群馬県内経済への影響について、ほとんどの企業が経済を「減速させる」と考えている。
- 事業活動への影響については、9割弱の企業が「影響がでている」と回答した。内訳をみると、「大きな影響がでている」が3割を占めた。影響の主な内容は、「原材料・仕入価格の上昇」や「輸送コストの増加」が挙げられた。
- 今後も原油価格が高止まりした場合、ほぼすべての企業が「影響がでる」と回答した。内訳をみると「大きな影響がでる」とする企業が6割超まで増加しており、先行きへの不安感が一段と高まると考えられる。
- 対応策については、現状では「対策はとらずに静観」が3割超を占める一方、今後は「販売価格への転嫁」「経費の削減」「輸送コストの見直し」など、具体的な対策を講じる企業が増加する見込みである。